

国立国会図書館サーチ

外部提供インタフェース仕様書

目次

1. はじめに	1
2. 共通事項	2
3. SRU	4
4. SRU/SOAP(SRW) (2020.3.2 サービス提供終了)	11
5. OpenSearch	12
6. OpenURL	15
7. Z39.50 (2020.3.2 サービス提供終了)	18
8. OAI-PMH	19
9. 書影 API	25

1. はじめに

本資料は、各機関のアプリケーション等から「国立国会図書館サーチ」（以下、本システムという）を検索したり、メタデータを取得したりする際に利用するインタフェース仕様について記述したものである。

本システムでは、以下の外部提供インタフェースを提供している。

表 1-1 対応しているインタフェースの一覧と概要

No.	インタフェースの種類	概要	入力形式	出力形式
1	SRU	情報検索のための通信規約である Z39.50 を発展させた、REST を利用して情報内容を検索する規約	URL	XML
2	SRW	(2020.3.2 サービス提供終了) 情報検索のための通信規約である Z39.50 を発展させた、WebService を利用して情報内容を検索する規約	XML	XML
3	OpenSearch	A9.com によって提唱された横断検索のための通信規約	URL	XML (RSS)
4	OpenURL	コンテンツのリンク先を指定するため、メタデータ情報を URL 形式でリンクサーバに送信するための規格	URL	HTML
5	Z39.50	(2020.3.2 サービス提供終了) 情報検索を行うためのクライアント・サーバ型の通信規約	Z39.50 インタフェース	Z39.50 インタフェース
6	OAI-PMH	OAI (Open Archives Initiative) が定めた、サーバ間でメタデータを機械的に収集するための、要求と結果を授受するための通信規約	URL	XML
7	書影 API (HTTP)	本システムに保存・公開されている書影 (thumbnail) を取得するための API	URL	画像ファイル

2. 共通事項

(1) アクセス URL

各提供手段のアクセス URL（ベース URL）は以下である。

表 2-1 アクセス URL

No.	提供手段	URL
1	SRU	https://iss.ndl.go.jp/api/sru
2	SRW	(2020.3.2 サービス提供終了)
3	OpenSearch	https://iss.ndl.go.jp/api/opensearch
4	OpenURL	https://iss.ndl.go.jp/api/openurl
5	Z39.50	(2020.3.2 サービス提供終了)
6	OAI-PMH	https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh
7	書影 API	https://iss.ndl.go.jp/thumbnail

HTTP でのアクセスをした場合は HTTPS にリダイレクトされる。

また、OpenSearch の設定ファイルである OpenSearch Description Document は以下の URL にてアクセス可能である。

- ・ https://iss.ndl.go.jp/api/opensearch_description

(2) データプロバイダの一覧と ID

各提供手段において、リクエスト対象の検索対象データベース（以降、「データプロバイダ」という）の指定はデータプロバイダ ID にて行う。データプロバイダは随時追加になっていくため、最新のデータプロバイダとデータプロバイダ ID の一覧は本書附録 1（「データプロバイダ一覧と外部提供インタフェース対応表」）を参照のこと。

※HTTP（書影 API）はデータプロバイダの指定はない。

(3) データプロバイダグループ

各提供手段においてデータプロバイダ ID を直接指定する以外に、データプロバイダのグループを指定することができる。データプロバイダグループを以下に示す。

※HTTP（書影 API）はデータプロバイダグループの指定はない。

表 2-2 データプロバイダグループ

No.	データプロバイダグループ ID	データプロバイダグループの内容
1	digitalcontents	本文、デジタル画像等（一次情報）
2	catalogue	目録、索引等
3	site	サイト情報
4	reference	調べ物に便利な情報、参考情報
5	science	自然科学系の情報
6	humanities	人文科学系の情報

7	library	図書館に関わる情報
8	child	子供向けの情報
9	ndl	国立国会図書館が提供する情報

データプロバイダグループとデータプロバイダの対応については、本書附録 1（「データプロバイダ一覧と外部提供インタフェース対応表」）を参照のこと。

(4) 文字コード

いずれの提供手段においても文字コードは UTF-8 である。

(5) ハーベスト型と横断検索型のデータプロバイダによる違い

本サービスで検索対象としているデータプロバイダには、検索の実現方式として大別して次の 2 種類がある。

- ・ ハーベスト型：データプロバイダからメタデータを収集（ハーベスト）して本サービスとしてデータベース化しているもの
- ・ 横断検索型：データベース化はせず、検索時にネットワークを介してデータプロバイダに直接リクエストを発行しているもの

外部提供インタフェースにおいては、横断検索型のデータプロバイダからの結果は取得していないため、本書附録 1 の「表 1.データプロバイダ一覧と外部提供インタフェース対応表」および「表 2.データプロバイダグループとデータプロバイダの対応」にはハーベスト型のデータプロバイダのみを掲載し、横断検索型のデータプロバイダは掲載していない。

(6) 本サービスの検索との関係

各インタフェースによって対応可能な検索条件はそれぞれ異なるが、本サービスでの検索項目ともいずれも異なっている。外部提供インタフェースでは、基本的に本サービスで指定できる条件のうち一部のみに対応していると考えていただきたい。

(7) データの形式及び内容について

返戻されるデータの形式（スキーマ）及び内容に関しては、次項以降の各インタフェースの説明の中で記載する。

返戻されるデータ形式のうち、dcdnl および dcdnl_simple は、「国立国会図書館ダブリュコアメタデータ記述（DC-NDL）」に基づき本サービスで定義した形式である。dcdnl の詳細については「DC-NDL(RDF)フォーマット仕様」、dcdnl_simple の詳細については「DC-NDL(Simple)フォーマット仕様」を参照のこと。

3. SRU

(1) 概要

SRU (Search/Retrieve Via URL) により、外部機関等が本サービスを検索し、結果を取得するためのインタフェースである。



図 3-1 SRU 提供インタフェースの概要

SRU の基本仕様は以下に記述されている。

<http://www.loc.gov/standards/sru/>

本サービスでは SRU バージョン 1.1 および 1.2 をサポートする。

ZEEREX はサポートしない。

(2) サポート範囲

本サービスでは SRU の主要なオペレーションである searchRetrieve 及び explain をサポートする (scan オペレーションはサポートしない)。

(3) searchRetrieve の引数

表 3-1 searchRetrieve の引数

No.	引数名	指定すべき値
1	operation	必須 "searchRetrieve"
2	version	任意 1.1 または 1.2 (省略した場合は 1.2 とみなす)
3	query	必須 検索条件 (CQL)、詳細は後述
4	startRecord	開始位置 省略した場合は 1 とみなす
5	maximumRecords	最大取得件数 省略した場合は 200 とみなす

6	recordPacking	“xml”または“string” 省略した場合は“string”とみなす
7	recordSchema	取得データのスキーマ dc または dcndl、dcndl_simple 省略した場合は dc とみなす
8	recordXPath	使用しない
9	resultSetTTL	使用しない
10	sortKeys	ソートキー情報 version1.1 のときのみ有効
11	schema	使用しない
12	path	title,creator,created_date,modified_date のいずれか sortKeys 指定がない場合はデフォルト（タイトル順） （version に 1.1 を指定し、sortKeys を指定した場合にのみ利用可）
13	ascending	“0”（降順）,”1”（昇順） （version に 1.1 を指定し、sortKeys を指定した場合にのみ利用可） 指定がない場合は”1”
14	stylesheet	使用しない
15	extraRequestData	使用しない
16	inprocess	“true”を指定した場合、NDL 新着書誌情報 ¹ のみを取得
17	onlyBib	“true”を指定した場合、書誌情報のみを取得 （recordSchema に dcndl を指定した場合にのみ利用可）

(4) CQL 仕様

CQL は SRW における検索クエリの仕様である。本サービスでは CQL1.2 を基本とする。CQL の基本仕様は「3.SRU (1) 概要」に示した URL で参照できる。CQL でクエリを発行する際に利用できる項目は以下のとおりである。

表 3-2 SRU 検索項目

No.	参照名	内容
1	dpid	データプロバイダ ID
2	dpgroupid	データプロバイダグループ ID
3	title	タイトル
4	creator	作成者

¹国立国会図書館が収集した国内刊行出版物及び外国刊行日本語出版物の作成中書誌情報を、いち早く提供するサービス。

https://www.ndl.go.jp/jp/data/data_service/jnb/index.html

5	publisher	出版者
6	digitized_publisher	デジタル化した製作者
7	ndc	分類（NDC、NDLC、LCC、DCC、UDC）
8	ndlc	分類（NDLC）
9	description	内容記述
10	subject	主題
11	isbn	ISBN（10桁、13桁どちらの形式でも検索可能）
12	issn	ISSN
13	jpno	全国書誌番号
14	from	開始出版年月日（YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD）
15	until	終了出版年月日（YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD）
16	anywhere	検索対象項目は国立国会図書館サーチの簡易検索と同一
17	itemno	国立国会図書館サーチ内部での書誌のアイテム番号 （リポジトリ番号-アイテム番号-枝番）
18	mediatype	資料種別 国立国会図書館サーチの詳細検索の資料種別に対応 “1”：本 “2”：記事・論文 “3”：新聞 “4”：児童書 “5”：レファレンス情報 “6”：デジタル資料 “7”：その他 “8”：障害者向け資料（障害者向け資料検索対象資料） “9”：立法情報
19	sortBy （searchRetrieveの 引数versionに「1.2」 を指定した場合にのみ 利用可）	ソートの基準となる参照名を記述する ただし、国立国会図書館サーチで有効なソート基準は[タイトル （title）][作成者（creator）][作成日（created_date）][更新日 （modified_date）][刊行年（issued_date）]のいずれかとする。 昇順降順は続けて/sort.ascending、/sort.descendingと記述する。

検索キーワードに「AND」、「OR」が含まれている場合（「andy」、「organic」なども含む）は検索エラーとなる。この場合、「%3d」の前後に「%20」を付与して検索すると正常に検索が実行できる。

例：title に検索キーワード「andy」を指定する場合、「title%20%3d%20%22andy%22」と指定する。

項目 title、creator、publisher、digitized_publisher には一致条件としては前方一致（^）、部分一致、完全一致（exact）を指定できる。条件指定のない場合は部分一致と看做される。

なお、その他の項目については一致条件の指定は不可能である。

isbn,issn に関しては、一致条件は完全一致条件と看做される。isbn は 10 桁または 13 桁で入力した場合に、10 桁と 13 桁の両方に変換して完全一致検索を行う。それ以外の桁で入力した場合も完全一致検索を行い、前方一致検索等を行わない。

dpid,dpgroupid などに関しては、一致条件は完全一致条件と看做される。

※dpid,dpgroupid 以外に完全一致条件とみなされる項目は「表 3-3 SRU 項目毎に指定可能な条件」を参照

description,subject に関しては、部分一致条件とみなされる。

from,until に関しては YYYY、YYYY-MM、あるいは YYYY-MM-DD 形式で指定し完全一致条件とみなされる。from と until の両方を指定する場合、両方の指定フォーマットは同じ (from が YYYY-MM なら、until も YYYY-MM 形式で指定する。) とする必要がある。
なお、「年月 (YYYY-MM)」「年月日 (YYYY-MM-DD)」の指定時は、指定の粒度未満の出版年を持つ書誌はヒットしない。(例えば、1999-01~2000-12 (YYYY-MM 形式) と指定した場合、出版年に 1999-12 (YYYY-MM 形式) や 2000-01-01 (YYYY-MM-DD 形式) を持つ書誌はヒットするが、1999 や 2000 (YYYY 形式) の書誌などはヒットしない。)

また各項目内の論理条件として and、or を指定可能である。項目間の結合条件はすべて and、すべて or のいずれかを指定可能である。

以下に項目毎に指定可能な条件を示す。

表 3-3 SRU 項目毎に指定可能な条件

No.	参照名	一致条件 (^,exact)	論理条件 (all,any,=)	複数値指定
1	dpid	× (完全一致)	=,any のみ	○
2	dpgroupid	× (完全一致)	=のみ	×
3	title	○	○	○
4	creator	○	○	○
5	publisher	○	○	○
6	digitized_publisher	○	○	○
7	ndc	× (前方一致)	=のみ	×
8	ndlc	× (前方一致)	=のみ	×
9	description	× (部分一致)	○	○
10	subject	× (部分一致)	○	○
11	isbn	× (完全一致)	=のみ	×
12	issn	× (完全一致)	=のみ	×
13	jpno	× (完全一致)	=のみ	×
14	from	×	=のみ	×
15	until	×	=のみ	×
16	anywhere	× (部分一致)	○	○
17	itemno	× (完全一致)	=のみ	×

18	mediatype	×（完全一致）	=のみ	○
----	-----------	---------	-----	---

項目に対して複数の値を指定する場合、指定値は”” で囲う必要がある(例：title="ruby python")。ただし、指定値が単一で式があいまいにならない場合は省略が可能である。(例:title = architecture)。

(5) データの返戻件数

startRecord と maximumRecords を指定することで、検索結果の取得開始位置及び取得件数を指定できる。

startRecord は引数を省略した場合に 1、maximumRecords は引数を省略した場合に 200 が設定される。

maximumReords による取得件数は最大 500 件まで指定できる。

ただし検索負荷回避のための制約により、両引数を指定した場合でも 501 件目以降を取得することはできない。

(例：検索結果の 100 件目から 20 件を取得する場合

startRecord=100&maximumRecords=20)

(6) 返戻形式

表 3-4 SearchRetrieve Response 内容

No.	項目名	戻り値
1	Version	“1.2” または “1.1”（リクエストで指定されたもの）
2	numberOfRecords	検索結果件数
3	resultSetId	使用しない
4	resultSetIdleTime	使用しない
5	nextRecordPosition	次レコード開始位置 startRecord=1, maximumRecords=200 の場合、検索結果数が 200 以上の場合は 201 が返戻される。検索結果数が 200 以下（次ページがない）の場合は 0 が返戻される。
6	Diagnostics	エラーメッセージリスト
7	extraResponseData	検索結果（ファセット）
8	echoedSearch retrieveRequest	使用しない
9	Records	検索結果リスト
10	Record	1 書誌の開始
11	recordSchema	スキーマ
12	recordPacking	“xml”ないし”string”
13	recordData	書誌情報の開始
14	recordPosition	当該書誌情報の位置

データの返戻形式は XML である。スキーマはリクエスト時に指定したものであり、dc ないし dcndl または dcndl_simple である。

extraResponseData として、検索した内容のファセットデータを返す。なお、ファセット項目は以下の通りである。（ただし、検索結果が 0 のファセット項目は返戻データには含まれない）

- データプロバイダ

データプロバイダごとの検索結果ヒット件数が返される。

なお、検索結果は dp 要素内に、dpid="データプロバイダ ID" で表現される。

データプロバイダ ID は本書附録 1（「データプロバイダ一覧と外部提供インタフェース対応表」）を参照すること。

例：

```
<lst name="REPOSITORY_NO">
  <int name="R100000001">159</int>
  <int name="R100000004">7</int>
  .
  .
</lst>
```

※name=~で指定される数値は、データプロバイダのリポジトリ番号。リポジトリ番号に関しては「本書附録 1（「データプロバイダ一覧と外部提供インタフェース対応表」）を参照のこと。

- NDC

資料の NDC 分類において、NDC コードの最初の桁の数値を分野と判断し、分野別に検索ヒット数が返される。

例：

```
<lst name="NDC">
  <int name="7">1</int>
  <int name="9">2</int>
  .
  .
</lst>
```

- 出版年

出版年ごとの検索ヒット件数を返す。

なお、出版年不明の場合は、ファセットの検索結果には含まれない。

例：

```
<lst name="ISSUED_DATE">
```

```
<int name="1600">1</int>
<int name="1650">3</int>
.
.
</lst>
```

返戻データ例は本書附録 3（「各インタフェースの返戻データ例」）を参照すること。

(7) エラーメッセージ

文法エラー、サーバーエラーなどエラーの場合、サーバはエラーメッセージを返す。
返戻形式、エラーメッセージ内容などは SRU 標準仕様「Diagnostics List」
(<https://www.loc.gov/standards/sru/diagnostics/diagnosticsList.html>)の通りとする。

(8) リクエスト例（CQL 例）

- 例 1. 2008 年に出版されていて、タイトルに「桜」を含むもの
CQL は `title="桜" AND from="2008" AND until="2008"` となる。
※ 実際の本サービスへの問い合わせ URL は、これをエンコードしたもの
(`title%3d%22E6%A1%9C%22%20AND%20from%3d%222008%22%20AND%20until%3d%222008%22`)
を query に付加し、
`https://iss.ndl.go.jp/api/sru?operation=searchRetrieve&query=title%3d%22e6%a1%9c%22%20AND%20from%3d%222008%22%20AND%20until%3d%222008%22`
となる。
- 例 2. 著者が「夏目漱石」（完全一致）のもの
CQL は `creator exact "夏目漱石"` となる。
※ 実際の本サービスへの問い合わせ URL は、これをエンコードしたもの
(`creator%20exact%20%22e5%a4%8f%e7%9b%ae%e6%bc%b1%e7%9f%b3%22`)
を query に付加し、
`https://iss.ndl.go.jp/api/sru?operation=searchRetrieve&query=creator%20exact%20%22e5%a4%8f%e7%9b%ae%e6%bc%b1%e7%9f%b3%22`
となる。

4. SRU/SOAP(SRW)

※2020.3.2 サービス提供終了

5. OpenSearch

(1) 概要

OpenSearch により、外部機関等が本サービスを検索し、結果を取得するためのインタフェースである。



図 5-1 OpenSearch 提供インタフェースの概要

OpenSearch は URL で検索リクエストを発行し、結果を RSS2.0 形式で取得するものであり、その基本仕様は以下に記載されている。本サービス側の対応バージョンは 1.0 である。

<http://opensearch.org>

(2) リクエスト形式

リクエスト形式は以下の URL である。

[https://iss.ndl.go.jp/api/opensearch?dpid=\[dpid\]&title=\[title\]&...](https://iss.ndl.go.jp/api/opensearch?dpid=[dpid]&title=[title]&...)

(3) 引数 ([query]) の形式

リクエストの中で指定できる項目は以下である。

表 5-1 OpenSearch 検索項目

No.	参照名	内容	一致条件	複数
1	dpid	データプロバイダ ID	完全一致	○
2	dpgroupid	データプロバイダグループ ID	完全一致	×
3	any	すべての項目を対象に検索	部分一致	○
4	title	タイトル	部分一致	○
5	creator	作成者	部分一致	○
6	publisher	出版者	部分一致	○
7	digitized_publisher	デジタル化した製作者	部分一致	○
8	ndc	分類 (NDC)	前方一致	×
9	from	開始出版年月日 (YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD)		×

10	until	終了出版年月日 (YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD)		×
11	cnt	出力レコード上限値（省略時は 200 とする）		×
12	idx	レコード取得開始位置（省略時は 1 とする）		×
13	isbn	ISBN 10 桁または 13 桁で入力した場合は、10 桁、13 桁の両方に変換して完全一致検索を行う。 それ以外の桁で入力した場合は前方一致検索を行う。	完全一致 または 前方一致	×
14	mediatype	資料種別 国立国会図書館サーチの詳細検索の資料種別に対応 “1”：本 “2”：記事・論文 “3”：新聞 “4”：児童書 “5”：レファレンス情報 “6”：デジタル資料 “7”：その他 “8”：障害者向け資料（障害者向け検索対象資料） “9”：立法情報	完全一致	○

注) 項目間の論理条件は全て AND である。

注) 一つの検索項目内に空白区切りでキーワードを複数指定することができる。

この場合、dpid に関しては OR 検索、他は AND 検索となる。dpid,dpgroupid のみ指定した検索はできない。

注) 引数（パラメータ）誤りの場合には検索結果ゼロ件となる。

注) from,until に関しては、YYYY、YYYY-MM、あるいは YYYY-MM-DD 形式で指定が可能である。from と until の両方を指定する場合、両方の指定フォーマットは同じ (from が YYYY-MM なら、until も YYYY-MM 形式で指定する。) とする必要がある。なお、「年月 (YYYY-MM)」「年月日 (YYYY-MM-DD)」の指定時は、指定の粒度未満の出版年を持つ書誌はヒットしない。(例えば、1999-01~2000-12 (YYYY-MM 形式) と指定した場合、出版年に 1999-12 (YYYY-MM 形式) や 2000-01-01 (YYYY-MM-DD 形式) を持つ書誌はヒットするが、1999 や 2000 (YYYY 形式) の書誌などはヒットしない。)

(4) データの返戻件数

cnt パラメータで指定した件数までが返却される。デフォルトは 200 件である。

また、一度に取得できる最大件数は 500 件までという制限がある。

(5) 返戻形式

データの返戻形式は RSS2.0 を本サービス用に拡張したものである。

返戻データ例は本書附録 3（「各インタフェースの返戻データ例」）を参照すること。

(6) リクエスト例

- 例 1. タイトルに「マリーアントワネット」を含むもの
`https://iss.ndl.go.jp/api/opensearch?title=%e3%83%9e%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%82%a2%e3%83%b3%e3%83%88%e3%83%af%e3%83%8d%e3%83%83%e3%83%88`
- 例 2. 青空文庫の中で、著者に「夏目」を含むもの
`https://iss.ndl.go.jp/api/opensearch?dpid=aozora&creator=%e5%a4%8f%e7%9b%ae`

6. OpenURL

(1) 概要

OpenURL により、外部機関等が 本サービス を検索し、結果を取得するためのインタフェースである。



図 6-1 OpenURL 提供インタフェースの概要

OpenURL は URL で発行されるリクエストに対して画面 (HTML) で結果が返戻されるものであり、基本仕様は以下に既述されている。

<https://www.niso.org/publications/z3988-2004-r2010-openurl-framework-context-sensitive-services>

(2) リクエスト形式

リクエストは以下の形式の URL である。

[https://iss.ndl.go.jp/api/openurl?genre=\[genre\]&...](https://iss.ndl.go.jp/api/openurl?genre=[genre]&...)

なお、この URL で返される検索結果 HTML は、本サービスの Web での検索結果画面と同一のものであるため、本サービスの対応ブラウザでのみ表示が可能である。

(3) genre 指定と検索先

genre (またはrft.genre) を指定可能であるが、本サービスでは、次の3 パターンによって検索先 (検索対象となるデータプロバイダ) を分けている。なお、genre=を指定した場合と、rft.genre=を指定した場合の結果は同様である。

- genre=article の場合
- genre=article 以外の場合 (OpenURL で指定可能な genre 指定のうち article 以外)
- genre 指定なしの場合

genre とデータプロバイダとの対応は、本書附録 2 (「OpenURL - genre の指定とデータプロバイダの対応」) を参照のこと。

なお、genre（または rft.genre）による指定と、atitle,btitle による指定に矛盾がある場合はエラーメッセージを表示して、検索は中止する。

また、ndl_dpid で検索を指定した場合、genre によるデータプロバイダ指定も無効となる。

(4) atitle,btitle 指定と検索先

ndl_dpid で検索を指定した場合、atitle,btitle による検索先指定は無効となり、title=検索文字列&ndl_dpid=検索先を指定した場合と同様の動作となる。

(5) 指定可能な検索項目

本サービスでは、OpenURL1.0 のパラメータ（キー）のうち一部をサポートする。指定可能なパラメータを以下に示す。

表 6-1 OpenURL に関する検索項目

No.	項目	genre=article の場合	genre=article 以外 の場合	genre 指定無し の場合	一致 条件	検索方法	複数 指定
1	aulast (または rft.aulast)	○	○	○	部分 一致	au (rft.au) と同様 ※1	×
2	aufirst (または rft.aufirst)	○	○	○			
3	au (または rft.au)	○	○	○	部分 一致	作成者を検索	○
4	title, atitle (または rft.title, rft.atitle)	○	—	○	部分 一致	(記事) タイトル を検索	○
5	btitle (または rft.btitle)	—	○	○	部分 一致	タイトルを検索	○
6	jtitle (または rft.jtitle)	○	—	○	部分 一致	ジャーナルタイト ルを検索	○
7	pub (または rft.pub)	—	○	○	部分 一致	出版者を検索	○

8	issn (または rft.issn)	○	○	○	前方 一致	ISSN を検索	×
9	isbn (または rft.isbn)	—	○	○	完全 一致 また は 前方 一致	ISBN を検索 (10 桁または 13 桁で入力した場 合は、10 桁、13 桁の両方に変換 して完全一致検 索を行う。それ 以外の桁で入力 した場合は前方 一致検索を行う 。)	×
10	any	○	○	○	部分 一致	すべてを検索 (簡易検索相当)	○
11	ndl_jpno	—	○	○	前方 一致	全国書誌番号を 検索 (独自拡張)	×
12	ndl_dpid	○	○	○	完全 一致	当該データプロ バイダのみの検 索 (独自拡張)	○
13	mediatype	○	—	○	完全 一致	資料種別を検 索 (独自拡張)	○

注) 検索項目間の論理条件は全て AND である。

注) isbn, issn, ndl_jpno 以外は空白区切りで複数ワードを指定することができる。

複数指定した場合、ndl_dpid は OR 検索、他は AND 検索となる。

※ 1 : aufirtst と aulast が同時に指定された場合は、2つの条件で AND 検索を行う。

(6) データの返戻件数

500 件までという制限がある。

(7) 返戻形式

リクエストクライアントに対し HTML で返戻され、GUI でブラウザに表示される。

(8) リクエスト例

- 例 1. タイトルに「電子図書館」を含むもの

<https://iss.ndl.go.jp/api/openurl?btitle=%e9%9b%bb%e5%ad%90%e5%9b%b3%e6%9b%b8%e9%a4%a8>

- 例 2. 著者に「夏目漱石」を含むもの

<https://iss.ndl.go.jp/api/openurl?au=%e5%a4%8f%e7%9b%ae%e6%bc%b1%e7%9f%b3>

7. Z39.50

※2020.3.2 サービス提供終了

8. OAI-PMH

(1) 概要

OAI-PMH（Open Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting）により、本サービスが収集したメタデータを提供するインタフェースである。

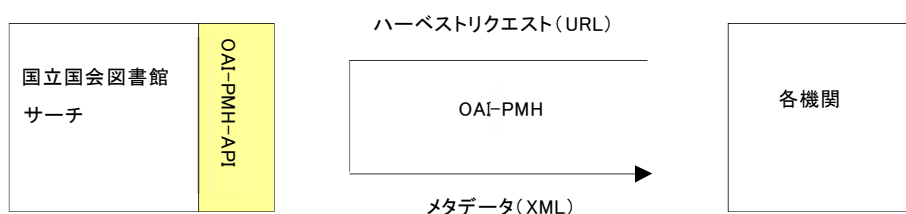


図 8-1 OAI-PMH 提供インタフェースの概要

OAI-PMH はメタデータ交換のために OAI（Open Archives Initiative）によって開発が進められているプロトコルである。基本仕様は以下のページに記述されている。

<http://www.openarchives.org/OAI/openarchivesprotocol.html>

また、国立情報学研究所が日本語訳を公開している。

<https://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation/oai-pmh2.0/>

OAI-PMH では以下の 6 つの操作（verb と呼ぶ）によってリポジトリにアクセスする。「アイテム」とは 1 件のデータ（本サービスの場合では検索結果として表示される情報の単位）のことである。

- GetRecord（特定のアイテム 1 件のメタデータを取得する）
- Identify（リポジトリについての情報を取得する）
- ListIdentifiers（全アイテムの識別子を取得する）
- ListMetadataFormats（サポートしているメタデータの形式を取得する）
- ListRecords（全アイテムのメタデータを取得する）
- ListSets（サポートしている set（グループ：絞り込み条件）を取得する）

以下、本サービスのリポジトリ（OAI-PMH 外部提供インタフェース）に関し、仕様を記述する。

(2) リポジトリ基本情報

リポジトリ基本情報として、Identify リクエストに対する返戻内容を記述する。

表 8-1 リポジトリ基本情報

タグ名	内容	応答値
repositoryName	リポジトリ名	国立国会図書館サーチ
baseURL	リポジトリのベース URL	https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh
protocolVersion	リポジトリがサポートする OAI-PMH のバージョン	Version 2.0
earliestDatestamp	リポジトリ内の変更、修正、削除を記録するすべての日付スタンプの保証下限。この日付より前の日付スタンプを持つアイテムは存在しない。	リポジトリの初期構築日付なし 全面再構築日付
deletedRecord	リポジトリの削除済みレコードに対する処理法。	persistent
granularity	リポジトリがサポートする日付精度	YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ

(3) サポートリクエストと引数

以下のリクエスト、引数をサポートする。

表 8-2 リクエストと引数

No.	リクエスト	引数					
		identifier	Metadata Prefix	from	until	set	Resumption Token
1	GetRecord	◎	◎	-	-	-	-
2	Identify	-	-	-	-	-	-
3	ListIdentifiers	-	◎	◎	○	○	○
4	ListMetadataFormats	○	-	-	-	-	-
5	ListRecords	-	◎	◎	○	○	○
6	ListSets	-	-	-	-	-	○

◎：必須、○：任意（後述するように from,until の期間には制約がある）

(4) set

set は選択的ハーベストを実現するためにアイテムをグループ化する定義である。特定の属性を持つアイテム群に関するメタデータのみを取得する際に利用されるものである。

本サービスにおける set は、

- ・ データプロバイダ ID
- ・ データプロバイダグループ ID
- ・ NDC（ただし、指定可能なのは 3 桁まで）
- ・ コレクションコード … ※
- ・ 公開範囲… ※

※ … データプロバイダ「国立国会図書館デジタルコレクション」(ndl-dl) または「国立国会図書館デジタルコレクション（電子書籍・電子雑誌）」(ndl-dl-online) を指定時のみ有効となる

である。set を指定した場合、指定したデータプロバイダ、データプロバイダグループ、NDC、コレクションコード、公開範囲（Access Rights）に該当するデータの情報のみが返戻される。

※コレクションコードで指定可能な資料の概要については次のページに記述されている。

<https://dl.ndl.go.jp/ja/intro.html#idx4>

※公開範囲（Access Rights）の詳細は次のページに記述されている。

<https://dl.ndl.go.jp/ja/intro.html#idx2-1>

NDC およびコレクションコードに関しては前方一致とする。例えば NDC に一桁「7」が指定された場合は分類コード 7xx が付与された書誌データも出力される。コレクションコードに三桁「D07」が指定された場合は、基本的にコレクションコード D07xxx（D07 の下位にあたるコレクションコード）に属するメタデータが出力される。（例外については、附録 4（「コレクションコード・Access Rights 一覧」）を参照のこと。）

データプロバイダに青空文庫を指定する場合は、「set=aozora」のように指定する。NDC 分類 735 のものを指定する場合は「set=735」とする。データプロバイダや NDC 分類など複数の項目を同時に指定する場合は、「:」区切りで指定する。指定する項目の順序は任意で、青空文庫の NDC 分類 735 のものを指定する場合は、「set=aozora:735」もしくは「set=735:aozora」とする。国立国会図書館デジタルコレクションのコレクションコード「D07」のものを指定する場合は、「set=ndl-dl:D07」もしくは「set=D07:ndl-dl」とする。国立国会図書館デジタルコレクション（電子書籍・電子雑誌）の NDC 分類 735、コレクションコード「D07」、公開範囲（Access Rights）「国立国会図書館内公開」を指定する場合は「set=ndl-dl-online:735:D07:Arkannai」もしくは「set=Arkannai:735:D07:ndl-dl-online」などとする。なお、同一項目内で複数条件を指定することはできない。例えば、複数の NDC 番号を指定するようなリクエスト「set=913:914」はエラーとなる。

なお、コレクションコードならびに公開範囲（Access Rights）が変更されても、変更前の内容について削除レコードは出力されない。例えば、set の公開範囲（Access Rights）に「インターネット公開」を指定している場合、ある時点で「インターネット公開」から「国

「立国会図書館内公開」に変更されたメタデータがあっても、削除レコードが出力されないために変更されたことが検知できない。従って、OAI-PMH の set にコレクションコードあるいは公開範囲（Access Rights）を指定して収集している場合は、定期的に全件または指定した set で全件を収集し、洗い替える必要がある。

※最新のコレクションコードならびに公開範囲（Access Rights）の一覧は、附録 4（「コレクションコード・Access Rights 一覧」）を参照のこと。

※国立国会図書館では、平成 22 年度から NDL 新着書誌情報を提供している。NDL 新着書誌情報のデータプロバイダは国立国会図書館オンラインだが、新着書誌情報のメタデータを取得したい場合は、「set=iss-ndl-opac-inprocess」を指定してリクエストする。なお、国立国会図書館オンラインのメタデータは「set=iss-ndl-opac」でも取得できるが、こちらには新着書誌情報のデータは含まれない。

※国立国会図書館では、平成 25 年度から NDL 全国書誌情報を提供している。NDL 全国書誌情報のデータプロバイダは国立国会図書館オンラインだが、全国書誌情報のメタデータを取得したい場合は「set=iss-ndl-opac-national」を指定してリクエストする。なお、NDL 全国書誌情報のメタデータは、「set=iss-ndl-opac」で取得できる国立国会図書館オンラインの書誌情報のうち、全国書誌番号を持つ書誌情報のみを対象としたデータである。

(5) データの返戻件数

ListIdentifiers、ListRecords、ListSets において一度に返戻されるデータの件数は 200 件である。201 件以降を取得したい場合には、200 件を取得した際に通知される resumptionToken を指定してリクエストする。

(6) 返戻形式

データの返戻形式は XML である。スキーマ（metadataPrefix）は oai_dc、dcdnl、dcdnl_simple のいずれかを選択することができる。

※本 API の OAI-PMH では dcdnl を指定した場合でも、個体情報(dcdnl:Item)を1メタデータにつき1件のみしか返戻しないこととしている。

返戻データ例は、附録 3（「各インタフェースの返戻データ例」）を参照のこと。

(7) identifier

OAI-PMH ではリポジトリ側のユニークなアイテム識別子をサービスプロバイダ側と授受できる。これを利用して差分ハーベスト時にサービスプロバイダ側でデータの更新を行うことなどができる（「(3) サポートリクエストと引数」で identifier として記述したパラメータである）。

本サービスでは、この identifier としてメタデータ ID を利用している（本サービスの全

メタデータに対して一意に付与されているID で、以下の構成である）。

oai:iss.ndl.go.jp:[リポジトリ番号]-[アイテム番号]-[枝番]

(8) from、until

from に年月日（YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ）を指定した場合、指定した年月日以降に更新された書誌を返戻し、until に年月日（YYYY-MM-DD または YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ）を指定した場合、指定した年月日以前に更新された書誌を返戻する。

from,until の期間に関する制約は「(9) OAI-PMH のアクセス制限」を参照のこと。

(9) OAI-PMH のアクセス制限

OAI-PMH のアクセスでは大量のデータ取得アクセスによって本サービスへの負荷が高くなることを避けるために、以下の制限を設けている。

ListRecords 及びListIdentifier におけるfrom は必須とする。また、そのfrom、until によって指定可能な範囲（期間）には以下の制約条件がある。

- 1年を超える期間を指定することはできない
- untilを指定しない場合には、上記の最大の期間がuntilに指定されたものとみなす

(10) リクエスト例

例1. Identify リクエスト

- <https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=Identify>

例2. ListMetadataFormats リクエスト

- <https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=ListMetadataFormats>

例3. ListIdentifiers リクエスト

- https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=ListIdentifiers&metadataPrefix=oai_dc&from=2019-12-10

例4. ListRecords リクエスト

- https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=ListRecords&metadataPrefix=oai_dc&set=aozora&from=2019-07-01
- https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=ListRecords&metadataPrefix=dcndl_simple&from=2019-12-01&set=iss-ndl-opac-inprocess

例5. GetRecord リクエスト

- https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=GetRecord&metadataPrefix=oai_dc&identifier=oai:iss.ndl.go.jp:R100000002-I000001287827-00

例6. ListSets リクエスト

- <https://iss.ndl.go.jp/api/oaipmh?verb=ListSets>

9. 書影 API

(1) 概要

HTTP により、外部機関等が本サービスを検索し、書影データ（JPEG 画像）を取得するためのインタフェースである。



図 8-1 HTTP 提供インタフェースの概要

書影 API による画像の取得は、ISBN を指定することで行う。指定された ISBN に合致する公開中のサムネイルがある場合は、その画像を返戻し、合致するものが無い場合はエラーを返戻する。

(2) リクエスト形式

リクエストは以下の形式の URL である。

`https://iss.ndl.go.jp/thumbnail/[isbn]`

(3) ISBN の指定

書影を取得するには、リクエスト URL の末尾に取得対象の ISBN を指定する。1 度のアクセスで指定できる ISBN は 1 つである。

また、ISBN の指定は 13 桁（ISBN-13 形式）である（10 桁（ISBN-10 形式）での指定は行えない。）。ただし、ISBN はハイフンで区切らずに入力する。

(4) データの返戻件数

本システムで保存・公開している書影は、1 つの ISBN につき 1 件のみである。そのため、返戻するデータも常に 1 件のみとなる。

(5) 返戻形式

指定された ISBN で、本システムが保存・公開中の書影データを検索し、その結果を返戻する。公開中の書影が取得できた場合は、その画像を返し、取得できなかった場合は、エラーとして HTTP ステータスコード「404 not found」を返す。

なお、指定の ISBN にて完全一致で検索した結果を返すため、指定した ISBN 自体が存在しない値（形式が不正な場合や未指定の場合を含む。）の場合も、ISBN 自体は

存在するが、本システムで保存・公開中の書影がない場合も、同等のエラー（404 not found）が返される。

また、API へのアクセスが集中し、結果を正常に返戻できない場合は、HTTP ステータスコード「503 Service Unavailable」を返す

(6) リクエスト例

ISBN が 978-4-9999-9999-6 の資料の書影を取得するための URL は次の通り

<https://iss.ndl.go.jp/thumbnail/9784999999996>

(7) 注記

書影 API で提供される書影は、本書附録 1「データプロバイダ一覧と外部提供インタフェース対応表」表 4 で示すデータプロバイダから提供されたものである。

改版履歴

No.	版数	発行日	改版内容
1	暫定版	2010.08.17	初版作成
2	第 1.1 版	2011.06.20	<ul style="list-style-type: none"> ・ OpenSearch の返戻項目を変更。 ・ OAI-PMH の返戻形式のスキーマに <code>dcndl_simple</code> を追加。 ・ OAI-PMH の <code>set</code> パラメータに、NDL 新着図書情報の作成中書誌のみをリクエストできる「<code>set=iss-ndl-opac-inprocess</code>」を追加。
3	第 1.2 版	2011.07.22	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU、SRU/SOAP (SRW)、OAI-PMH の返戻形式のスキーマ <code>dcndl</code> の改訂に伴い、参照資料を追加。
4	第 1.3 版	2012.01.06	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU の <code>recordSchema</code> に「<code>dcndl_simple</code>」を追加。 ・ SRU 引数に「<code>inprocess</code>」を追加。 ・ SRU 検索項目に「<code>mediatype</code>」を追加。 ・ SRU 指定可能な条件に「<code>mediatype</code>」を追加。 ・ SRU データの返戻最大件数を変更。 ・ SRW の <code>recordSchema</code> に「<code>dcndl_simple</code>」を追加。 ・ SRW 引数に「<code>inprocess</code>」を追加。 ・ SRW 検索項目に「<code>mediatype</code>」を追加。 ・ SRW 指定可能な条件に「<code>mediatype</code>」を追加。 ・ OpenSearch 検索項目に「<code>mediatype</code>」を追加。 ・ OpenURL 検索項目に「<code>mediatype</code>」を追加。 ・ OAI-PMH のリクエスト引数に「<code>mediatype</code>」を追加
5	第 1.4 版	2012.09.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU の引数「<code>inprocess</code>」に指定する値の記載を修正。 ・ SRW の引数「<code>inprocess</code>」に指定する値の記載を修正。 ・ 各インタフェースの返戻データ例（附録 3）を追加。 ・ OAI-PMH を利用する場合のデータプロバイダと <code>mediatype</code> 対応表（附録 4）を追加。 ・ 誤記修正、文言見直しなど。
6	第 1.5 版	2012.11.29	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU 引数に「<code>onlyBib</code>」を追加。 ・ SRW 引数に「<code>onlyBib</code>」を追加。（ ・ OAI-PMH 引数に「<code>onlyBib</code>」を追加。 ・ SRU,SRW,OAI-PMH の返戻データ例に <code>dcndl</code> 形式で書誌情報のみを取得する場合の例を追加。（附録 3） ・ OpenSearch の返戻データ例に提供元書誌詳細画面の URL 「<code>rdfs:seeAlso</code>」と名前空間「<code>xmlns:rdf</code>」、「<code>xmlns:rdfs</code>」を追加。（附録 3）
7	第 1.6 版	2013.01.25	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU 検索項目「<code>isbn</code>」に 10 桁、13 桁どちらの形式でも検索可能であることを追記。 ・ SRW 検索項目「<code>isbn</code>」に 10 桁、13 桁どちらの形式でも検索可能であることを追記。 ・ OpenSearch 検索項目「<code>isbn</code>」に 10 桁、13 桁どちらの形式でも検索可能であることを追記。 ・ OpenURL 検索項目「<code>isbn</code>（または <code>rft.isbn</code>）」に 10 桁、13 桁どちらの形式でも検索可能であることを追記。 ・ OAI-PMH (GetRecord,ListIdentifiers,ListRecords) における「<code>dcndl</code> 形式」、「<code>dcndl</code> 形式（書誌情報のみを取得）」、「<code>dcndl_simple</code> 形式」の返戻データ例に名前空間「<code>xmlns:xsi</code>」を追加。（附録 3）
8	第 1.7 版	2014.01.21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1 へ連携停止済データプロバイダとメタデータの削除日を追加

外部提供インタフェース仕様書（第 2.0 版）
2020.3.2

9	第 1.8 版	2014.03.31	<ul style="list-style-type: none"> ・ OAI-PMH の set パラメータに、NDL 全国書誌情報をリクエストできる「set=iss-ndl-opac-national」を追加。 ・ 各インタフェースの返戻データ例更新。誤記修正。（附録 3） ・ OpenURL に関する検索項目の誤記修正。
10	第 1.9 版	2014.07.18	<ul style="list-style-type: none"> ・ Z39.50 の表 7-1 Value1016 の対応欄を any → anywhere に修正。 ・ 表 7-2 の注記を修正。 ・ Z39.50 の④ をサービスでは利用しない。に修正し、表 7-3 の削除。 ・ Z39.50 の表 7-4 の表番号を 7-3 に修正、表名の Type が誤っていたのを修正、中間一致の対応を ○→空欄に修正。注記を追加。 ・ 附録 1 へ新規連携データプロバイダ（農林水産関係試験研究機関総合目録）を追加 ・ 附録 1 へ連携停止済データプロバイダ（九州大学デジタル・アーカイブ）とメタデータの削除日を追加 ・ 附録 2 へ連携停止済データプロバイダに関する記述を追加 ・ 附録 3 へ Z39.50 の返戻データ例を追加
11	第 1.10 版	2014.09.22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1 へ新規連携データプロバイダ（東京都立図書館デジタルアーカイブ、駒澤大学電子貴重書庫）を追加 ・ 附録 2 へ新規連携データプロバイダ（東京都立図書館デジタルアーカイブ、駒澤大学電子貴重書庫）を追加
12	第 1.11 版	2014.10.31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.SRU (5)の記述を修正 ・ 8.OAI-PMH (1) の URL を一部修正 ・ 8.OAI-PMH (10)の記述を修正 ・ 附録 1 へ新規連携データプロバイダ（国立女性教育会館女性デジタルアーカイブシステム）を追加 ・ 附録 1 の秋田県立図書館デジタルライブラリー、農林水産関係試験研究機関総合目録のパラメータ修正 ・ 附録 2 へ新規連携データプロバイダ（国立女性教育会館女性デジタルアーカイブシステム）を追加
13	第 1.12 版	2014.12.15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1 へ連携停止済データプロバイダ（NDL-HP 掲載刊行物）とメタデータの削除日を追加 ・ 附録 2 へ連携停止済データプロバイダに関する記述を追加
14	第 1.13 版	2015.03.31	<ul style="list-style-type: none"> ・ OAI-PMH の返戻時間について説明を追記。
15	第 1.14 版	2015.08.14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1、2、4 の既存データプロバイダ（石川県立図書館 貴重資料ギャラリー・地域資料ライブラリー）を（石川県立図書館 貴重資料ギャラリー）に変更 ・ 附録 1、2 の既存データプロバイダ（資料の森（千葉県立中央図書館 電子図書館））を（千葉県デジタルアーカイブ）に変更 ・ 附録 4 へ既存データプロバイダ（千葉県デジタルアーカイブ）を追加
16	第 1.15 版	2015.09.18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1、2、4 の（大阪府立中之島図書館 貴重書画像データベース）を（大阪府立図書館 おおさか e コレクション）に変更。 ・ 附録 1、2、4 に（山梨デジタルアーカイブ（山梨県立図書館）、（農林水産省図書館・電子化図書一覧公開システム））を追加。 ・ 附録 1、2、4 に未掲載のデータプロバイダを追加

17	第 1.16 版	2016.05.11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8.OAI-PMH (2) の表 8-1 のリポジトリ名、リポジトリの削除済みレコードに対する処理法。、リポジトリがサポートする日付精度を変更 ・ 8.OAI-PMH (3) の表 8-2 のリクエストと引数を変更 ・ 8.OAI-PMH (8) の日付指定のフォーマットに YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ を追加 ・ 8.OAI-PMH (9) mediatype を削除、「(10) OAI-PMH のアクセス制限」を「(9) OAI-PMH のアクセス制限」に変更 ・ 8.OAI-PMH (10) のアクセス制限における範囲の制約についてプロバイダに関わらず 1 年に変更 ・ 8.OAI-PMH (11) 返戻時間を削除、「(12) リクエストサンプル」を「(10) リクエストサンプル」に変更 ・ OAI-PMH での mediatype 指定は廃止されたため、附録 4 を削除
18	第 1.17 版	2016.06.27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1、2、3 に (J-STAGE) を追加。 ・ 誤記修正
19	第 1.18 版	2016.11.17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1、2、3 に (九大コレクション) を追加。
20	第 1.19 版	2017.03.29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1、2、3 に (文化遺産オンライン)、(デジタルアーカイブシステム ADEAC) を追加。
21	第 1.20 版	2017.05.15	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU にて digitized_publisher の指定が可能となったことに伴い、3.SRU(4)の表 3-2、表 3-3、並びに本文に digitized_publisher の記述を追加 ・ SRW にて digitized_publisher の指定が可能となったことに伴い、4.SRU/SOAP (SRW) (4) の表 4-2、表 4-3、並びに本文に digitized_publisher の記述を追加 ・ OpenSearch にて digitized_publisher の指定が可能となったことに伴い、5.OpenSearch (3) の表 5-1 に digitized_publisher の記述を追加 ・ OAI-PMH にてコレクションコードと公開範囲 (Access Rights) による集合の取得が可能となった事に伴い、8.OAI-PMH (4) にコレクションコードと Access Rights の記述を追加 ・ コレクションコードと Access Rights の一覧を記した附録 4 を追加
22	第 1.21 版	2017.11.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3.SRU (7) Diagnostics List の URL を変更 ・ 3.SRU (4) の表 3-3、並びに 4.SRU/SOAP (SRW) (4) の表 4-3 より下記項目を削除 <ul style="list-style-type: none"> ・ 17 porta_type ・ 18 digitalize_type ・ 19 webget_type ・ 20 payment_type ・ 21 ndl_agent_type
23	第 1.22 版	2018.01.04	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8.OAI-PMH (4)set の記述について、以下を追加。 <ul style="list-style-type: none"> ・ NDC で指定可能なのは 3 桁まで ・ 同一項目の複数条件指定は不可 ・ 各文書の記述中の「NDL-OPAC」を「国立国会図書館オンライン」に変更
24	第 1.23 版	2018.03.22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附録 1、2、3 に (ColBase: 国立博物館所蔵品統合検索システム) を追加。

外部提供インタフェース仕様書（第 2.0 版）
2020.3.2

25	第 1.24 版	2018.06.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9.書影 API の記述を追加。 ・ SRU の出版年を指定する際の注記を追加。 ・ SRW の出版年を指定する際の注記を追加。 ・ OpenSearch の出版年を指定する際の注記を追加。 ・ Z39.50 の出版年を指定する際の注記を追加。
26	第 1.25 版	2018.09.25	<ul style="list-style-type: none"> ・ コレクションコードの追加（D071AP～D071AV）に伴い、附録 4 を修正
※			以降、附録の変更は更新履歴に反映せず
27	第 2.0 版	2020.3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ SRU/SOAP(SRW) および Z39.50 についてサービス提供終了に伴い記載を削除。 ・ 常時 SSL 化に伴い URL 等を変更。 ・ その他、表現・体裁の変更。